

# 読書

地域のことを調べるには図書や雑誌、インターネットなど様々な方法があるが、最も身近なものは、その地域で毎日発行されている地元新聞だろう。明治から現在まで、その時代時代を映す鏡となり、生活の様子を生き生きと伝えてくれる。

岐阜県を代表する新聞といえば「岐阜新聞」である。県図書館では、一八八二(明治十五)年七月から所蔵している。残念ながら一号も漏らさず、いつわけではない。

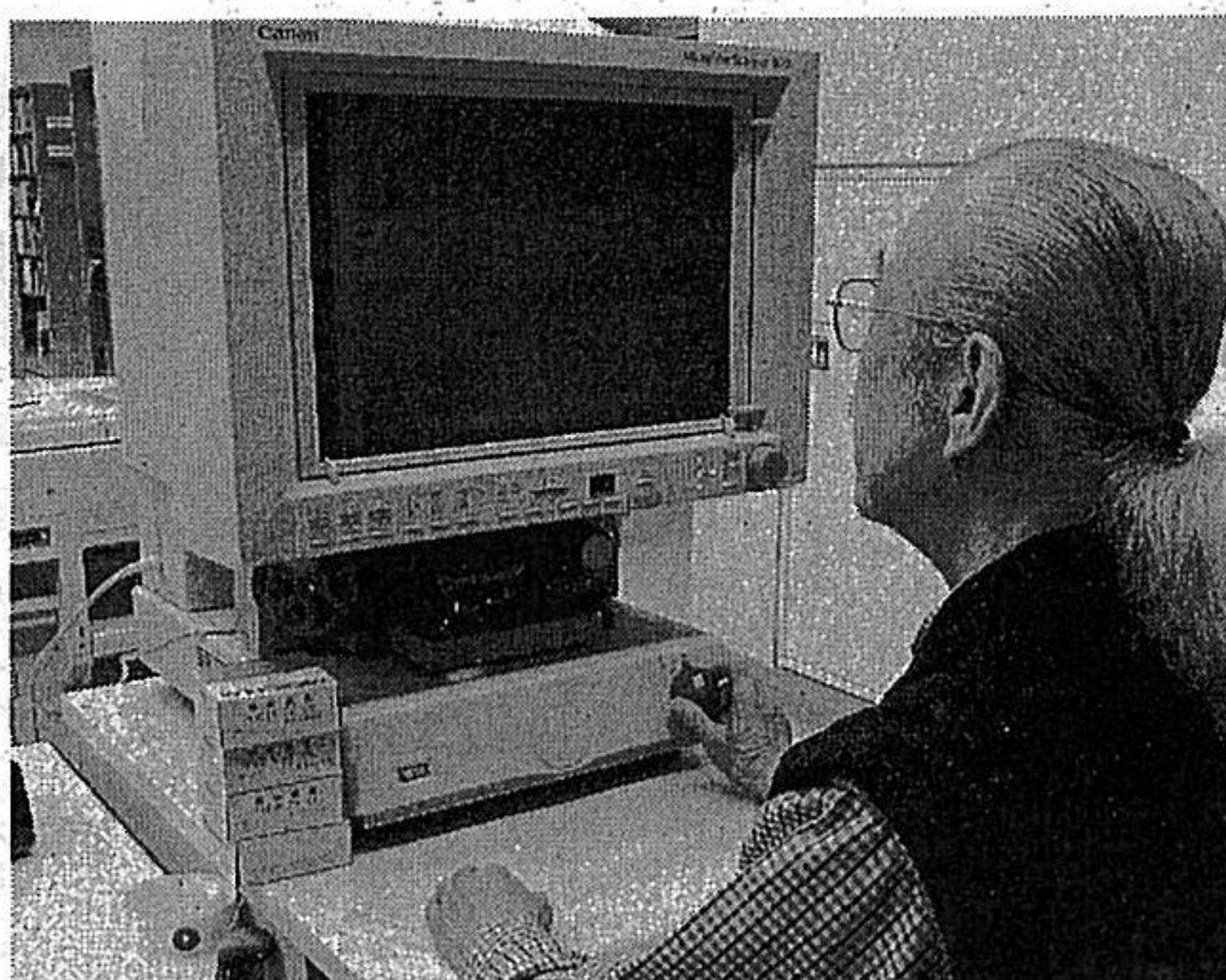
こんな情報が待つていて、これが判明し、完全な形で利用できる日が来るこ

## 県図書館に行こう

●こんな情報が待つていて、

地域のこと調べるに九一八(大正七)年から三七(昭和十二)年、四年から四四年が大きく欠けている。この時期のものは国立国会図書館にも岐阜新聞本社にも保存されていない。不足分がどこかに保存されている

## 地元新聞 地域の歴史 紹介する記録



マイクロリーダーで岐阜新聞を調べる利用者

BOOK REVIEW

残っている昭和十二年以後も、用紙の劣化が進んでおり、破損を防ぐために基本的にマイクロフィルムを利用して供している。岐阜県内の十大ニュースを、三十年ほどさかのぼって毎年調査している。「十大ニュース」の中から目的のものを見つけ出す手段が必要だ。うに時期が決まっていればともかく、膨大な記事の中から目的のものを見つけることが出来る。郷土関係記事索引を作成している。県に関わる主な記事を主題ごとに並べた項目から探し出すことで、掲載日付や紙名を見つけることが出来る。インターネットでは、HPの蔵書検索の中に「新聞記事検索」がある。利用してみていただきたい。

たことがある。フィルムを取り替えては確認していく作業は手間もかかるが、世相の移り変わりが見てどれ、興味深くもあった。